

「価値」とは何か

人文学部 田畑勇太くん (平成 25 年 3 月卒業)

★ “価値” ってなんだろう

自分は大学生活を自分のライフスタイルを見つけ出す場として活用してきました。自分はこれから何をしていくのか、どんなことが幸せだと思うのか、ということを考えて生活してきました。また、自分の考えに影響を与えてくれそうなイベントや活動に積極的に参加しました。その中でも一番自分に影響を与えてくれたのが長期インターンです。

2 回生の前期に参加した長期インターンシップを振り返ると苦しい思い出しか出てきません。楽しいことも嬉しいこともあったと思うけれど、苦しい思い出が強すぎて記憶から消し去られてしまっています。朝の通勤ラッシュも手伝って行きたくないと考えた日は少なくありません。事実、恥ずかしながら無断欠勤を一日しました。そもそも長期インターンシップに参加した理由が「面白そう」という軽薄なものでした。自らの将来像のヒントを掴む期待や、自分の力がどこまで通用するかという野望も少々はありましたが、単純に未知なるものに飛び込むことに快感を覚えていたのだと思います。そんな期待を抱いたインターンの、どこが苦しかったのか分析してみると、「価値」という概念に苦しめられたのだと思います。正直未だに「価値」を正確に説明することはできません。ただ、イメージとしては、全ての仕事には関わっている人がたくさん存在していて、その人達がどうしたら幸せになれるかということを考えながら動くことだと考えています。「価値」を意識したのは、面接でインターン先の社長から話をしてもらってからです。面接の時は簡単に納得した気になっていましたが、半年間この「価値」には苦しめられました。「価値」とは何なのか。どうやったら生みだせるのか。自分はどうしたら「価値」を生みだす人間になれるのか。いや、半年間というのは間違いで、インターンから帰って2年と半年が経っても「価値」への意識が頭から離れません。結果から言うと自分は半年間で社会に「価値」を生みだすことができませんでした。それ以前に営業を担当していたが一銭も利益をあげることができませんでした。自分なりに努力をし、「価値」を生みだすために必死で足掻きましたが、成果には繋がりませんでした。

★ “価値” を生み出せない自分への焦り

インターン中はとにかく焦りました。失敗して、焦って、失敗しての繰り返しでした。今考えてみれば違う方法もあったと思います。しかし、仕事をしていく中で見つけだすことができませんでした。そんな苦しくて何もできなかったインターンでしたが、卒業

を目前にして振り返ってみると、その後の大学生活、または現在の考え方、そして将来進むと決めた道に大きな影響を与えていると感じます。また、今考えてみるとインターン中にできるようになったことも多くあります。幼少時代から苦手であった電話対応も、毎日する中で平気になりました。大学ではわからなかった社会の仕組みを、仕事をすることで理解できるようになりました。そして何より「価値」を意識して動けるようになりました。まだまだ「価値」を生み出すには力不足ですが、意識すること続けていけばいつか生みだせる人間になれると思います。インターンに参加したことに対し後悔はしていません。社会という荒波飛び込むことができ本当に良かったと思います。大学生活は生ぬるいことが多いと思います。大学生はもっと焦ったほうが良いと思います。自分のやりたいことが決まってないことに対しもっと恐怖を感じて欲しいです。長期インターンはそんな恐怖をより身近に感じさせてくれる絶好の活動だと思います。

★挑戦し続ける“価値”

インターン後はESWIQという大学の環境サークルで活動しました。環境問題にとっても興味があるという訳ではありませんが、活動内容が面白いのと活動自体が壊滅的なところに興味を持ちました。どうしたら活動が活発になるのかを考え実行していき、それによってサークル全体が反応するところが面白いと感じました。最初は一人でやっていた活動も様々な工夫によりメンバーが集まってくることを経験できたことが良かったと思っています。この考えもインターンに行ったからこそ生まれたものだと思います。たぶん大学生活でどんな団体に入って、どんな活動をしたかは余り問題ではなく、その活動を通して何をしたいかが明確になっていて、それを実行することが大切だと思います。

これから大学という守られた空間から出ることになります。今までは大学生といえ活動は是認され、協力も多数頂きました。しかし、これからはどんな活動をするのでも今まで以上の「価値」を生み出す力や技術が求められてくると考えます。できるだけ早く力や技術を持つ人間になりたい「価値」を生みだしたいと考えています。